

# ポタンボウフウ

*Peucedanum japonicum* Thunb. var. *japonicum*  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は4箇所である。県内での生育地が限られており、生育基盤が脆弱で、食用に採取されることがあるため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

## 分 布

本州中部～琉球に分布する。県内では嶺南地方で確認されている。

## 種の特徴

海岸の砂地や崖に生える多年草。茎は丈夫で、高さ60～100cmになる。葉は厚く、青白く、3出葉か1～2回3出複葉。7～9月頃、花序をつける。花序には総苞片はなく、小総苞片は数個、縁に毛がある。分果の背面に毛がある。

## 生育を脅かす要因

生育地である海岸の開発。食用を目的とした採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○														

# ムカゴニンジン

*Sium ninsi* L.  
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

既知の生育地点は7箇所である。県内での生育地が限られており、生育基盤が脆弱であるため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

## 分 布

北海道～九州に分布する。県内では、あわら市、大野市、越前市、敦賀市、若狭町で確認されている。

## 種の特徴

湿地や水中に生える多年草。根は太く、束状に出る。茎は高さ30～100cm。葉腋にむかごができる。葉は単羽状複葉で、鋸歯がある。9～10月に花をつける。萼歯片はごく小さい。果実は球形、分果の断面は五角形。

## 生育を脅かす要因

生育地である湿地の開発。植生遷移で大型の植物が増加すること等による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○						○	○			○	

# ヒメスギラン

*Huperzia miyoshiana* (Makino) Ching  
ヒカゲノカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

深山の岩石や老木にコケに混ざって生育していた。確認地は3箇所であるが、現在はほとんど確認されていない。希産種。

## 分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は大野市、池田町。

## 種の特徴

小型の常緑草本で深山のコケが成育する岩石や老木に着生している。茎は短くはげしい、直立茎を出す。直立茎には多くの針状の葉をつける。茎の先端に芽体をつける。上部の葉の腋に孢子嚢をつける。

## 生育を脅かす要因

森林伐採による、老木の減少、産地局限。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1990）、中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	